

～令和8年度石教研理科(小)部会『指導案形式』基本形～

日 時 令和 年 月 日

児 童 ○○立○○小学校 年 組 名

指導者

1. 単元名「○○○○」**生命:多様性と共通性**

2. 単元について

単元の総括目標

単元名の隣に理科の見方を書きます

エネルギー:量的・関係的 **生命:多様性と共通性**

地球:時間的・空間的 **粒子:質的・実体的**

単元の評価規準

【知識・技能】

【思考・判断・表現】

【主体的に学習に取り組む態度】

「理科学習における児童の実態」は「3. レディネステストの結果と考察」と似ている部分があるので省略。

3. レディネステストの結果と考察に理科における児童の実態も含めて考察を記載する。

研究主題とかかわる大切にしたい考え方

見通しをもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、自己の成長を実感できる子どもの育成

(1) 見方・考え方を働かせ問題を解決する力の育成

(2) 見通しをもって問題を追究する授業づくり

(3) 教材・教具の工夫・開発

本単元で育てたい能力

この単元の学習で取り組ませる研究とかかわる手立てを記載してください。

3. レディネステストの結果と考察

※児童の実態に合わせ、問題数や内容を修正しても大丈夫です。昨年度から Forms に変更しています。準備ができ次第 Google ドライブに掲載する予定です。

4. 単元構造図

5. 単元の指導計画

	○学習の内容・活動 ◎予想される児童の発言 ☆理科の見方・考え方	□教師のはたらきかけ ☆理科の見方・考え方に至る教師の工夫
第一次 ○○○○○(○時間)	○／○○ 問題 予想 ◎ ☆ 実験・観察 ○ ○ 結果 ○ 結論	□ 見方・考え方を働かせる指導・支援の工夫場面にも☆マークをつけてください。
	○／○○	□
第二次 ○○○○○(○時間)	○／○○	☆
		□

「理科の見方・考え方が働いている場面」に☆マークをつけてください。

※問題の文末は「～だろうか。」
※問題は太字の四角、まとめは二重囲みの四角で表記。
※各校の実践に応じて、「問題・結論」の組み合わせを「課題・まとめ」に変更してもよいことにしています。

6. 本時の目標

- ◎（知識・技能）
- ◎（思考・判断・表現）
- ◎（主体的に学習に取り組む態度）

本時は、3観点すべてを設定する必要はありません。当てはまる観点について、具体的な目標を設定して下さい。

問題設定～ふりかえりまでが一時間に収まらない場合は、この様式のように分割して、**本時部分がわかるように**記載してください。

7. 本単位時間の展開（○・○／○）

一単位時間	○学習の内容・活動 ◎予想される児童の発言 ☆理科の見方・考え方	□教師のはたらきかけ ☆見方・考え方に至る教師の工夫
1 問題設定	○ 問題(課題) ~だろうか。	※ 特に重要な教師の働きかけについては、児童の学習の欄に、記述します。細かな指示や留意点のみ、こちらに記述します。
2 予想	○ ◎ ☆	
3 実験・観察		
【本時】 3 実験	復習：（例）問題から実験結果の見通しまで	※（例）本時は児童の実験からスタート
4 考察		☆
5 まとめ	結論（まとめ）	
6 ふりかえり		

・今年度の研究の重点は、「理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業づくり」です。これまでのアンケート等では、「実験場面を見たい」という意見が多く見られたことから、「本時には実験場面を設定すること」をお願いしてきました。

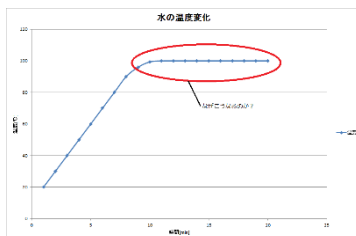
しかし、本研究の重点が「理科の見方・考え方を働かせることにあることを踏まえ、今年度は「見方・考え方を十分に働かせている場面であれば、必ずしも実験場面である必要はない」と捉え、授業づくりを進めていただきたいと考えています。

したがって、本時の授業の中には、**理科の見方・考え方を発揮する場面を入れて**ください。もし実験場面を本時で取り扱わず、後日実験などをする場合は、ビデオに実験の様子を入れたり、2次研の場で口頭で補足するなどして、一単位時間の様子がわかるように工夫していただけると、協議しやすくなり助かります。

8. 板書計画

※写真でも構いません。

9. 資料(教材教具)



教材教具の工夫、開発などで全体に紹介
できることがあれば記載してください。
写真の貼り付けなどで構いません。
例：教材教具・データなど

10. 授業を振り返って(※中心サークルにはこの項目はありません。)

【第 27 期(今年度)の研究の重点】

「理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業づくり」

(1) 授業者から

(2) 話し合いから

【討議の柱】「見方・考え方を働かせ問題を解決する力の育成」

①見方・考え方に至る教師のはたらきかけの工夫

②教材・教具の工夫・開発

討議の柱が複数あると、話しにくいという意見があることから、例年、**討議の柱を1本に設定**し、その柱について「教師のかかわり」「教材・教具の工夫」の観点も含めて、討議を深めたいと考えています。

※討議しやすいよう、広いテーマとしています。討議の中で、児童自らが「見通しをもって問題を追究する授業づくり」についても触れて、記録として残してください。↑

例年「教材・教具の工夫・開発」に対する議論が盛り上がるのですが、指導案形式では「教師のはたらきかけ欄」に「☆理科の見方・考え方に至る教師の工夫」として明記するようにしてあるので、その点についても積極的に議論を深めてください。